

# 美土里荘増床決定！

二月下旬完成・  
三月中旬入所開始予定



完成予想図

# はんの木だより

2015 年  
第 56 号

社会福祉法人美土里会

青森県上北郡七戸町寒水 70-17

電話 0176 (62) 2761



中庭部分に増床部分建築中

ついに、美土里会の長年の夢が叶う日が近づいて来ました。特別養護老人ホーム美土里荘（以下、美土里荘）の増床が決定し、現在工事が行われています。

社会福祉法人美土里会は、昭和六十三年に特別養護老人ホーム（以下、特養）五十床で事業を開始。以降、短期入所事業（ショートステイ）、通所介護事業（デイサービスセンター）、在宅介護支援センターや訪問介護事業、グループホームを順次開設して来ました。その間、特養は五十床のままでしたが、年を追うごとに地域の皆様やご利用者・ご家族から「施設入所できるようなして欲しい」「もっと施設の数を増やして欲しい」という声が聞かれるようになり、故・盛田益三前園長の代から、特養そのものの増床の検討を始めました。

しかし、増床のためには課題も多く、志半ばで前園長が逝去。その遺志を継いで七戸町や青森県と折衝・打ち合わせを重ね、特養増床の運びとなりました。

増床部分は鉄筋コンクリート造の平屋建て、約三百八十二坪。総工費は三億三千万円、美土里会始めて以来の一大事業となります。

雪が降っても頑張る  
施工業者さん！



増床により特養の定員は五十床から七十床に、ショートステイは四床から十三床に増え、合計で八十三床整備されることとなります。増床部分の居室は二人部屋を基本としており、今までの四人部屋に比べゆったりとした造りになっています。またショートステイには特別室として個室を整備し、より幅広い希望に対応しています。さらに浴室や洗濯場、食堂兼多目的ホール、職員用の休憩場所なども増えることになり、今まで以上に快適な生活を送って頂けるよう配慮されています。

増設工事は二月下旬まで行われ、県や関係機関の最終確認を経て、三月中旬より入居開始出来る見込みです。今後、見学会・説明会も予定していますので、その際は改めてご案内致します。

美土里会は、これからもご利用者・ご家族の皆様の声に応え、より地域に密着したサービスを提供したいと思っております。

お問い合わせは、  
社会福祉法人美土里会（電話・〇一七六一二二一七六一）まで。

## 事業所通信①

グループホーム様



十月二十九日・三十日と二日間北町・南町と分かれて紅葉見学のため、みちのく有料道路・七戸町内をドライブしました。

ドライブでは、車内からではありませんでしたが色付いた木々をみて「きれいだなあ。」という声も聞かれ、歌をうたいながら景色を楽しまれました。

ドライブ後はまるまつ七戸店にて外食をし、自分が好きな物を食べることで喜びの声も聞かれました。

時間を有効につかい買い物も楽しむ事で、利用者・職員共々、有意義な時間を過ごす事ができました。



職員とご利用者勢ぞろいでハイチーズ！



事業所通信②

デイサービスセンター 梓

十一月九日、七戸町内の柏葉館にて、演芸会を開催しました。当日は天気にも恵まれ暖かく、沢山のご利用者、ご家族の皆様にお越しいただきました。

まず始めに八十歳、九十歳、百歳、百五歳の方の敬老の表彰を行いました。対象となった皆様は緊張した表情をされながらも、嬉しそうに表彰状やプレゼントを受け取られていました。

その後、デイサービスでの一年間の様子をスライドショーにて上映し、口々に「こんなことあったな」と話しながら想い出話に花を咲かせていました。

昼食は十和田富士屋ホテルのオードブル・鍋料理のほか、美土里荘厨房のちらし寿司、漬物など豪華な食事がテーブルに並べられ、「この茶碗蒸しうめえな」「鍋もちらし寿司も美味しい」と大好評でした。

その後、ご利用者に美土里荘に関するクイズを出題。テーブルごとに〇×を挙げて頂き、同じテーブルの方々にプレゼントが配られるとあって、皆様真剣な表情で考えられていました。最後はクイズでは決着がつかずジャンケンで決まり、「良かった、面白かった」と話されていきました。

アトラクションではご職員の踊りや合唱、早口言葉、歌などのほか、ご利用者のど自慢ショーや踊りなど、特技や日ごろの練習の成果が披露され、笑いが絶えない一日となりました。また、全ての利用日のご利用者が一堂に集まったため、普段顔を合わせることのないご利用者同士で「おめ、どこから来たのよ」「歌って、上手だな」と話されるなど、新しい交流も生まれました。

今年の演芸会も、ボランティアの方々の協力をいただき無事終了することが出来ました。また来年もいろいろな工夫を凝らして楽しんで頂けるよう頑張りますので、ご期待下さい。



多くの方にご来場いただきました



職員のフラダンス!?



ご利用者のスコップ三味線も大好評

特別養護老人ホーム美土里荘



緊張の面持ちで賞状と記念品を受け取る柳澤様



自慢のごちそうが並びます



職員も大黒舞を披露!

十月六日、今年百歳を迎えられた柳澤スミ様を祝う会と敬老会が行われました。柳澤スミ様には内閣総理大臣、青森県知事、美土里荘から賞状と記念品が贈られました。その他、九十歳を迎えられた三名のご利用者には七戸町から、八十八歳・七十歳を迎えられたご利用者には美土里荘から賞状と記念品が贈られました。また、日頃歩行訓練を頑張っている方や、洗濯物たたみ等を手伝って下さるご利用者には感謝状が贈られました。

表彰式のあとは、七戸町つじ会の皆様による歌と踊りが披露され、手拍子をしたり、一緒に口ずさんだりし楽しんでいました。また新人職員による大黒舞では、練習の時間があまりなかったにもかかわらず、堂々とした祝舞を披露してくれました。会食ではちらし寿司、のり巻、刺身の舟盛り、エビフライ、フルーツなど和風をイメージした料理をバイキング形式で頂きました。また柳澤スミ様が好きな食べ物であるそばかけを用意し、ご本人も満足した様子でした。

敬老会も終盤に差し掛かったところで、ご利用者と職員によるカラオケタイム!プロ顔負けの歌唱に会場は大盛り上がりでした。

これからもご利用者のみなさんが、元気で長生きできますよう願っています。

新人職員紹介

9月以降、楠雪子さん、宮本美幸さん、和歌山ひとみさん、山田裕也さんの4名が新しく美土里会の仲間になりました!

①なぜ美土里荘に勤めようと思われましたか?

楠...知人よりオムツゼロ運動をしていると聞いていたので、自分が働くには難しそうだと思いますが、自分のスキルアップの為に頑張りたいと思ったからです。

宮本...特養は経験がなかったので、介護技術の向上になると思い選びました。

和歌山...地元という事もあり、以前から働きたいと思っていました。

山田...福祉の仕事をやってみたいと思ったからです。

②美土里荘の印象はどうですか?

楠...職員間の仲がいいと思います。  
宮本...職員の方はとても良い人ばかりで、雰囲気が良いです。  
和歌山...緑に囲まれていて、静かな環境にあり、自然に恵まれていると思いました。

山田...良い職場だと思いました。中も綺麗!

③休日は何をして過ごしていますか?

楠...買い物や、子供と遊んでいます。  
宮本...掃除をしたり、温泉に行ったり体をリセットしています。  
和歌山...昼寝やドライブ、買い物など、思いついたことをしています。  
山田...遊びに行ったりしています。

④趣味や特技はなんですか?

楠...趣味は晩酌をすることです。  
宮本...カラオケです!  
和歌山...趣味は音楽を聴く事、特技はピアノ歴9年!(ブランク10年...)今は弾ける自信がありません。  
山田...スノーボード!

⑤これからの抱負を教えてください。

楠...早く他のスタッフのように、慣れて働けるように頑張りたいです。  
宮本...自身のスキルアップに努め、より良い介護を目指します。  
和歌山...私生活も充実させていきたいと思っています。  
山田...まだまだ分からない事もたくさんありますし、色々な仕事もやってみたいです。

皆さんの活躍を期待しています!

またまた寒い季節がやってきました。外では、増設工事が着々と進んでおります。私は暖かい建物の中から「寒いんだろうなあ、大変そうだなあ」と思っている見守っています。きつと素晴らしい施設ができると期待しております。楽しみです(手)

編集後記